

教科・科目	外国語・英語表現 I	単位数	2(前期1+後期1)		
		ライン	3	開講 時期	前期と後期

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	身近なトピックについて自分の意見を述べたり、情報を交換したりすることができる。ある程度まとまりのある形で情報や考えを読み手や目的に応じて簡潔に書くことができる。
使用教科書・副教材等	NEW FAVORITE English Expression I (東京書籍) (放送視聴) NHK 高校講座「英語表現 I」

### 2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	観察 レポート	35%
b. 外国語表現の能力	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。	発表 レポート 試験	35%
c. 言語や文化についての知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付け、言語の背景にある文化などを理解することができる。	観察 レポート 試験	30%

### 3 学習計画

スクーリング 回数	学習内容	学習のねらい	評価の観点		
			a	b	c
前期	① L.3 What Did You Do? L.4 Let's Go on a Trip	友達に簡単な手紙を書くことができる。 自分の予定を発表したり相手の予定を尋ねたりすることができる。		○	
	② L.5 Music Lovers L.6 What a Day!	好きな音楽や一日の出来事について積極的に話そうとする。	○		
	③ L.7 Different Schools, Different Rules	学校の規則について説明することができる。		○	
	④ L.8 Snail Mail	助動詞を用いた文の意味・構造を理解することができる。			○
	⑤	この回は実施されません			
	⑥ L.9 Plastic Food Samples	食品サンプルについて説明することができる。		○	
	⑦ L.10 What Is That Gesture?	ジェスチャーを積極的に使おうとする。	○		
	放送視聴 第9回・10回	読み手や目的に応じた自己紹介をしようとする。	○		
後期	⑧ L.11 Laughter Brings Happiness	漫画PEANUTSの内容について積極的に質問しようとする。	○		
	⑨ L.12 A Movie Review L.13 My Brother Eats --Homework	新聞記事について内容を説明することができる。		○	
	⑩	この回は実施されません			
	⑪ L.14 The Future of Robots	関係代名詞を用いた文の意味・構造を理解することができる。			○
	⑫ L.15 Visit Kuala Lumpur! L.16 Our School's Global Footprint	お薦めの場所について説明することができる。 スピーチの内容について説明することができる。		○	
	⑬ L.17 Tokyo Skytree L.18 New Zealand	比較を用いた文の意味・構造を理解することができる。			○
	⑭ L.19 If I Were Principal.. L.20 Thank You, Everyone!	仮定法を用いた文の意味・構造を理解することができる。			○
	放送視聴 第30回・31回	自分が好きなことを相手にすすめようとする。	○		

### 4 単位修得の条件(次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件のすべてを満たすことが必要。)

スクーリング	前期4回以上、後期4回以上出席すること。	
	放送視聴について	各期1回までスクーリング回数に含めることができる。(視聴2回で1回分)
	教科別質問教室について	各期1回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

○ 学習の記録		担当の先生	先生		登録				
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格		日S	月S	火S	木S	
前期	① L.3 What Did You Do? L.4 Let's Go on a Trip 現在形、過去形、進行形、未来表現	前1	1 3	2 4	4/23	-	4/25	4/20	
	② L.5 Music Lovers L.6 What a Day! 完了形、完了進行形	前2	1 3	2 4	5/14	-	5/16	5/11	
	③ L.7 Different Schools, Different Rules 助動詞	前3	1 3	2 4	5/28	-	5/30	5/25	
	④ L.8 Snail Mail 助動詞 + have + 過去分詞、would (used to) do	前4	1 3	2 4	6/11	-	6/13	6/8	
	⑤	この回は実施されません							
	⑥ L.9 Plastic Food Samples 受け身	前5	1 3	2 4	7/9	-	7/11	7/6	
	⑦ L.10 What Is That Gesture? To不定詞	前6	1 3	2 4	7/23	-	7/25	7/20	
	放送視聴	第9回「About yourself (Speaking)」	視聴票	1	2	月 日 合格			
		第10回「About yourself (Writing)」	視聴票	1	2	月 日 合格			
	試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/20	-	8/22	8/17
後期	⑧ L.11 Laughter Brings Happiness 動名詞	後1	1 3	2 4	10/8	-	10/10	10/5	
	⑨ L.12 A Movie Review L.13 My Brother Eats...Homework 分詞、知覚動詞、使役動詞	後2	1 3	2 4	10/22	-	10/24	10/19	
	⑩	この回は実施されません							
	⑪ L.14 The Future of Robots 関係代名詞	後3	1 3	2 4	11/19	-	11/21	11/16	
	⑫ L.15 Visit Kuala Lumpur! L.16 Our School's Global Footprint 関係代名詞、関係副詞	後4	1 3	2 4	12/3	-	12/5	11/30	
	⑬ L.17 Tokyo Skytree L.18 New Zealand 比較	後5	1 3	2 4	12/17	-	12/19	12/14	
	⑭ L.19 If I Were Principal... L.20 Thank You, Everyone! 仮定法	後6	1 3	2 4	1/7	-	1/9	1/4	
	放送視聴	第30回「Things You Like (Speaking)」	視聴票	1	2	月 日 合格			
		第31回「Things You Like (Writing)」	視聴票	1	2	月 日 合格			
	試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	1/21	-	1/23	1/18
【先生からのメッセージ】 発展的な内容を取り扱いながら、英語で話したり書いたりする表現の幅を広げていくことを目標としています。そのため、スクーリングでは英語表現の基本となる文法事項を押さえながら、それらを用いて自分の言いたいことを英語で表現する練習を行います。積極的に辞書やNHK高校講座を活用するなどして、自分で工夫して英文を書く練習をしましょう。									

教科・科目	外国語・英語表現Ⅱ	単位数	4(前期2+後期2)		
		ライン	4	開講時期	前期と後期

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	身近なトピックだけでなく、社会的な話題についてもある程度のまとまりのある文章にして自分の意見を述べたり、情報を交換したりすることができる。
使用教科書・副教材等	EMPOWER English Expression II Mastery Course(桐原書店) (放送視聴)NHK 高校講座「英語表現Ⅰ」

### 2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	観察 レポート	30%
b. 外国語表現の能力	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	発表 レポート 試験	30%
c. 言語や文化についての知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けている。	観察 レポート 試験	40%

### 3 学習計画

スクーリング回数	学習内容	学習のねらい	評価の観点		
			a	b	c
前期	① L.1 Let me introduce myself L.2 A trip to Okinawa	積極的に言語活動を行い、自己紹介をしようとする。 自分自身の体験を日記形式で記そうとする。	○		
	② L.3 Cherry blossom viewing ~ L.4 Active aging	いろいろな主語の形を使って表現することができる。		○	
	③ L.5 Interesting restaurants and foods:Thai dishes	自分の最近の出来事を伝えることができる。		○	
	④ L.6 I'll introduce our classmates and teachers	現在完了形・現在完了進行形/過去完了形・過去完了進行形を用いた文の意味・構造を理解することができる。			○
	⑤ L.7 Come and enjoy ourschool ~ L.8 I'll apply for a homestay program	告知文を書くことができる。		○	
	⑥ L.9 Visit a World Heritage Site! L.10 Think about your future ~	自分の紹介したい観光名所を相手に伝えようとする。	○		
	⑦ 前期の復習	前期に学習した表現の用法についての知識を身に付け、活用することができる。			○
放送視聴	第5回・11回、第16回・17回	文法や英語表現についての説明を聞き、概要や要点を理解することができる。			○
後期	⑧ L.11 Reading graphs and charts L.12 Get-well card to our teacher	英語によるグリーティングカードの書き方を理解できる。			○
	⑨ L.13 The book I would like to ~ L.14 Welcome to my hometown!	自分の住んでいる地域や、自分が薦めたいものごとを相手に伝えようとする。	○		
	⑩ L.15 Words have a magical power	自分自身の思い出を積極的に伝えようとする。	○		
	⑪ L.16 You should use smartphones~ L.17 Think about globalization	自分の意見を筋道を立てて表現できる。		○	
	⑫ L.18 Our town's special produce L.19 Join our hip-hop dance club!	比較表現を使って学校の紹介文を書いている。	○		
	⑬ L.20 To study abroad, or not to study abroad	自分の願望を述べたり、アドバイスを与えたりすることができる。		○	
	⑭ 後期の復習	後期に学習した表現の用法についての知識を身に付け、活用することができる。			○
放送視聴	第24回・25回、第33回・34回	文法や英語表現についての説明を聞き、概要や要点を理解することができる。			○

### 4 単位修得の条件(次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件のすべてを満たすことが必要。)

スクーリング	前期8回以上、後期8回以上出席すること。	
	放送視聴について	各期2回までスクーリング回数に含めることができる。(視聴2回で1回分)
	教科別質問教室について	各期2回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回~前6回、後1回~後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

○ 学習の記録		担当の先生	先生		登録				
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格		日S	月S	火S	木S	
前期	①	L.1 Let me introduce myself L.2 A trip to Okinawa 文の構造、There is[are]~	前1	1 3	2 4	4/23	-	4/25	4/27
	②	L.3 Cherry blossom viewing from a boat L.4 Active aging 日本語で表されない主語、否定の主語、無生物主語	前2	1 3	2 4	5/14	-	5/16	5/18
	③	L.5 Interesting restaurants and foods:Thai dishes 現在形、現在進行形、過去形、過去進行形	前3	1 3	2 4	5/28	-	5/30	6/1
	④	L.6 I'll introduce our classmates and teachers 現在完了形、現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形	前4	1 3	2 4	6/11	-	6/13	6/15
	⑤	L.7 Come and enjoy our school events! L.8 I'll apply for a homestay program 未来を表す表現、助動詞	前5	1 3	2 4	6/25	-	6/27	6/29
	⑥	L.9 Visit a World Heritage Site! L.10 Think about your future careers 受動態、不定詞(名詞的用法)、動名詞	前6	1 3	2 4	7/9	-	7/11	7/13
	⑦	前期の復習				7/23	-	7/25	7/27
	放送視聴	NHK高校講座「英語表現Ⅰ」第5回・11回	視聴票	1	2	月 日 合格			
		NHK高校講座「英語表現Ⅰ」第16回・17回	視聴票	1	2	月 日 合格			
	試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/27	-	8/29	8/24
後期	⑧	L.11 Reading graphs and charts L.12 Get-well card to our teacher 名詞節、名詞を修飾する語句	後1	1 3	2 4	10/8	-	10/10	10/12
	⑨	L.13 The book I would like to recommend L.14 Welcome to my hometown! 関係代名詞と関係副詞(制限用法/非制限用法)	後2	1 3	2 4	10/22	-	10/24	10/26
	⑩	L.15 Words have a magical power 不定詞(副詞的用法)、分詞構文	後3	1 3	2 4	11/5	-	11/7	11/2
	⑪	L.16 You should use smartphones and SNS wisely L.17 Think about globalization 副詞節、否定語、部分否定	後4	1 3	2 4	11/19	-	11/21	11/22
	⑫	L.18 Our town's special produce L.19 Join our hip-hop dance club! 比較(原級・比較級・最上級、様々な比較表現)	後5	1 3	2 4	12/3	-	12/5	12/7
	⑬	L.20 To study abroad, or not to study abroad 仮定法過去、仮定法過去完了	後6	1 3	2 4	12/17	-	12/19	12/21
	⑭	後期の復習				1/7	-	1/9	1/11
	放送視聴	NHK高校講座「英語表現Ⅰ」第24回・25回	視聴票	1	2	月 日 合格			
		NHK高校講座「英語表現Ⅰ」第33回・34回	視聴票	1	2	月 日 合格			
	試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	1/28	-	1/30	1/25

【先生からのメッセージ】

英語表現Ⅰで学習した内容を発展させながら、それらを用いて複数の英文で自分の言いたいことが表現できるような練習問題を多く扱います。たくさん構文や、動詞、語彙を含んだ表現を学習して、英語で話したり書いたりする表現の幅をさらに広げていきます。学習書がありませんので、教科書に載っていない事柄については、辞書をひくなど、自分で工夫して理解を深めたり、英文を書いたりする必要があります。NHK高校講座も活用しましょう。

教科・科目	外国語・ハングル入門	単位数	2(前期1+後期1)		
		ライン	3	開講時期	前期と後期

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	ハングルを通じて、積極的にコミュニケーションを図る態度を身に付けるとともに、初歩的なハングルを用いて簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝えあったりすることができる。
使用教科書・副教材等	ハングル初級（白水社）

### 2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持って言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	観察 レポート	20%
b. 外国語表現の能力	ハングルを話したり書いたりして、自らの考えを表現している。	発表 レポート 試験	30%
c. 外国語理解の能力	ハングルを聞いたり読んだりして、話してや書き手の意向などを理解している。	観察 試験	30%
d. 言語や文化についての知識・理解	ハングルやその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	観察 レポート 試験	20%

### 3 学習計画

スクーリング回数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
			a	b	c	d
前期	① ハングルの概要、母音	ハングルの成り立ちや朝鮮半島の概要を理解しようとする。	○			
	② 子音(平音・激音・濃音)、有声音化	基本的な単語をハングルで書くことができる。		○		
	③ 終声(バッチム)	バッチムに注意してハングルを読むことができる。			○	
	④ リエゾン、連音	リエゾン、連音に注意してハングルを読むことができる。			○	
	⑤	この回は実施されません				
	⑥ 合成母音	合成母音を理解し、ハングルの単語を読むことができる。			○	
	⑦ 総復習、前期試験対策	前期に学習した子音と母音の知識を身に付け、活用することができる。				○
後期	⑧ 「第1課 学生です」～ですか、です型の文	簡単なハングルの表現を用いて、自分の考えを表現しようとする。	○			
	⑨ 「第2課 日本人ではありません」否定の言い方	否定の表現を用いて、簡単なハングルの文を書くことができる。		○		
	⑩	この回は実施されません				
	⑪ 「第4課 どこにいきますか」動詞、形容詞	疑問詞を使って質問することができる。		○		
	⑫ 動詞・形容詞の「해요体」	日常的な表現を用いて、自らの考えをハングルで表現することができる。		○		
	⑬ 長文の読み	ハングルで書かれた長文を読むことができる。			○	
	⑭ 総復習、後期試験対策	後期に学習した表現を身に付け、活用することができる。				○

### 4 単位修得の条件(次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件のすべてを満たすことが必要。)

スクーリング	前期6回以上、後期6回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	各期1回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

○ 学習の記録		担当の先生	先生		登録				
スクーリング回数	学 習 内 容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格		日S	月S	火S	木S	
前期	① ハングルの概要、母音	前1	1 3	2 4	4/23	-	4/25	4/20	
	② 子音(平音・激音・濃音)、有声音化	前2	1 3	2 4	5/14	-	5/16	5/11	
	③ 終声(パッチム)	前3	1 3	2 4	5/28	-	5/30	5/25	
	④ リエゾン、連音	前4	1 3	2 4	6/11	-	6/13	6/8	
	⑤	この回は実施されません							
	⑥ 合成母音	前5	1 3	2 4	7/9	-	7/11	7/6	
	⑦ 総復習、前期試験対策	前6	1 3	2 4	7/23	-	7/25	7/20	
	試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/20	-	8/22	8/17
後期	⑧ 「第1課 学生です」 ～ですか、です型の文	後1	1 3	2 4	10/8	-	10/10	10/5	
	⑨ 「第2課 日本人ではありません」 否定の言い方	後2	1 3	2 4	10/22	-	10/24	10/19	
	⑩	この回は実施されません							
	⑪ 「第4課 どこにいきますか」 動詞、形容詞の「입니다体、습니다体」	後3	1 3	2 4	11/19	-	11/21	11/16	
	⑫ 動詞・形容詞の「해요体」	後4	1 3	2 4	12/3	-	12/5	11/30	
	⑬ 長文の読み	後5	1 3	2 4	12/17	-	12/19	12/14	
	⑭ 総復習、後期試験対策	後6	1 3	2 4	1/7	-	1/9	1/4	
	試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	1/21	-	1/23	1/18

【先生からのメッセージ】  
「ハングル入門」では、「ハングル」の学習を通して、朝鮮半島に住む人びとの文化や習慣も理解していきます。「ハングル」の読み方から始め、挨拶や簡単な会話ができるように面接指導(授業)を進めていきます。日本語と言葉の並び方が似ており、日本語の発音に似た言葉もたくさんあります。積極的に声を出してよく読むことが上達のコツです。スクーリングに休まず出席できる人が受講してください。

教科・科目	外国語・ハンゲル	単位数	4(前期2+後期2)		
		ライン	4	開講 時期	前期と後期

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	ハンゲルを通じて、積極的にコミュニケーションを図る態度を身に付けるとともに、ハンゲルを用いて情報や考えなどを適切に理解したり、表現したり、伝えあったりすることができる。
使用教科書・副教材等	ハンゲル初級（白水社）

### 2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持って言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	観察 レポート	10%
b. 外国語表現の能力	ハンゲルを話したり書いたり、ハンゲルスピーチ文の作成及び発表を行い、自らの考えを表現している。	発表 レポート 試験	30%
c. 外国語理解の能力	ハンゲルを聞いたり読んだりして、話してや書き手の意向などを理解している。	観察 試験	30%
d. 言語や文化についての知識・理解	ハンゲルやその運用についての知識を身に付けるとともに、言語の背景にある文化などを理解している。また、ハンゲルで朝鮮・韓国の歌を歌える。	観察 レポート 試験	30%

### 3 学習計画

スクーリング回数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
			a	b	c	d
前期	① 音の変化(発音法則)等	有声音化、鼻音化、激音化、濃音化、口蓋音化、舌側音化の違いを理解することができる。				○
	② 第1課 肯定形・疑問形	簡単な自己紹介をしたり、相手に質問したりすることができる。	○			
	③ 第2課 否定形・存在形	予定があるのか、ないのかを聞いたり読んだりして理解することができる。			○	
	④ 第4課 疑問詞の使い方	疑問詞を使って質問することができる。		○		
	⑤ 第5課 命令形、ていねいな命令形	適切な命令形を使って表現することができる。		○		
	⑥ 第6課 否定形	否定形の文を聞いたり読んだりして、内容を理解することができる。			○	
	⑦ 前期の復習	前期で学習したことを理解することができる。				○
後期	⑧ 第7課 過去形	自分がしたことを、過去形を使って伝えようとしている。	○			
	⑨ 第8課 未来形・尊敬語	その場にふさわしい尊敬語を使って表現することができる。		○		
	⑩ 第3課 ことわざ① 第9課 ことわざ②・歌	朝鮮のことわざや歌を通して、朝鮮民族のものの考え方や文化を理解することができる。				○
	⑪ 第10課 禁止・願望	自分の要望を書いたり話したりして表現することができる。		○		
	⑫ 第10課 形容詞の連体形 第11課 動詞の連体形	形容詞と動詞の連体形の運用について理解することができる。				○
	⑬ 第11課 進行形	「～しています」「～ています」の違いを理解して聞いたり読んだりすることができる。			○	
	⑭ スピーチ、後期の復習 高校初級韓国語検定試験	高校初級韓国語検定試験の内容を理解できる。			○	

### 4 単位修得の条件(次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件のすべてを満たすことが必要。)

スクーリング	前期8回以上、後期8回以上出席すること。
	放送視聴について 実施しない。
	教科別質問教室について 各期2回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。

○ 学習の記録		担当の先生	先生		登録				
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格		日S	月S	火S	木S	
前期	① 音の変化(発音法則) 有声音化、鼻音化、激音化、濃音化、口蓋音化、舌側音化	前1	1 3	2 4	4/23	-	4/25	4/27	
	② 第1課 肯定形・疑問形	前2	1 3	2 4	5/14	-	5/16	5/18	
	③ 第2課 否定形・存在形	前3	1 3	2 4	5/28	-	5/30	6/1	
	④ 第4課 疑問詞の使い方	前4	1 3	2 4	6/11	-	6/13	6/15	
	⑤ 第5課 命令形・ていねいな命令形	前5	1 3	2 4	6/25	-	6/27	6/29	
	⑥ 第6課 否定形	前6	1 3	2 4	7/9	-	7/11	7/13	
	⑦ 前期の復習				7/23	-	7/25	7/27	
	試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/27	-	8/29	8/24
後期	⑧ 第7課 過去形	後1	1 3	2 4	10/8	-	10/10	10/12	
	⑨ 第8課 未来形・尊敬語	後2	1 3	2 4	10/22	-	10/24	10/26	
	⑩ 第3課 ことわざ① 第9課 ことわざ②・歌	後3	1 3	2 4	11/5	-	11/7	11/2	
	⑪ 第10課 禁止・願望	後4	1 3	2 4	11/19	-	11/21	11/22	
	⑫ 第10課 形容詞の連体形 第11課 動詞の連体形	後5	1 3	2 4	12/3	-	12/5	12/7	
	⑬ 第11課 進行形	後6	1 3	2 4	12/17	-	12/19	12/21	
	⑭ スピーチ、後期の復習 高校初級韓国語検定試験				1/7	-	1/9	1/11	
	試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	1/28	-	1/30	1/25

【先生からのメッセージ】

「ハングル」での学習を通して、朝鮮半島に住む人びとの文化や習慣も理解していきます。「ハングル入門」での学習を発展させ、ハンガルの文法を押さえながら、ハングルでスピーチを作って発表したり、コミュニケーションが取れるように面接指導(授業)を進めていきます。日本語と言葉の並び方が似ており、日本語の発音に似た言葉もたくさんあります。積極的に声を出してよく読むことが上達のコツです。スクーリングに休まず出席できる人が受講してください。



教科・科目	外国語・中国語入門	単位数	2(前期1+後期1)		
		ライン	3	開講 時期	前期と後期

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	中国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図る態度を身に付けるとともに、初歩的な中国語を用いて簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝えあったりすることができる。
使用教科書・副教材等	新・高校版 中国語はじめての一步 (白水社)

### 2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもって言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	観察 レポート	25%
b. 外国語表現の能力	中国語を話したり書いたりして、自らの考えを表現している。	発表 レポート 試験	25%
c. 外国語理解の能力	中国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。	観察 試験	25%
d. 言語や文化についての知識・理解	中国語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	観察 レポート 試験	25%

### 3 学習計画

スクーリング 回数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
			a	b	c	d
前期	① ピンイン、声調①	中国語の発音の基礎「ピンイン」と声調について理解することができる。				○
	② ピンイン、声調②	中国語の発音の基礎「ピンイン」と声調に注意して、発音することができる。			○	
	③ 数字、年月日、曜日	簡体字で書かれた数字、年月日、曜日を読むことができ、発音を聞き取ることができる。			○	
	④ あいさつ表現①	中国語での簡単なあいさつに関心をもち、その背景にある文化などを理解することができる。				○
	⑤	この回は実施されません				
	⑥ あいさつ表現②	中国語での簡単なあいさつを使って、会話をすることができる。		○		
	⑦ あいさつ表現③	場面に合ったあいさつを中国語でしようとする。	○			
後期	⑧ 基本文型①	簡単な自己紹介を中国語で表現しようとする。	○			
	⑨ 基本文型②	買い物についての表現などを、中国語で理解することができる。			○	
	⑩	この回は実施されません				
	⑪ 基本文型③	道案内を中国語でしようとする。	○			
	⑫ 基本文型④	自分の好きなことを中国語で書くことができる。		○		
	⑬ 基本文型⑤	中国の高校生の学校生活について、理解することができる。				○
	⑭ 基本文型⑥	学校生活や余暇の過ごし方などについて、中国語で作成し発表することができる。		○		

### 4 単位修得の条件(次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件のすべてを満たすことが必要。)

スクーリング	前期6回以上、後期6回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	各期1回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

○ 学習の記録		担当の先生	先生		登録				
スクーリング回数	学 習 内 容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格		日S	月S	火S	木S	
前期	① ピンイン、声調①	前1	1 3	2 4	4/23	-	4/25	4/20	
	② ピンイン、声調②	前2	1 3	2 4	5/14	-	5/16	5/11	
	③ 数字、年月日、曜日	前3	1 3	2 4	5/28	-	5/30	5/25	
	④ あいさつ表現①	前4	1 3	2 4	6/11	-	6/13	6/8	
	⑤	この回は実施されません							
	⑥ あいさつ表現②	前5	1 3	2 4	7/9	-	7/11	7/6	
	⑦ あいさつ表現③	前6	1 3	2 4	7/23	-	7/25	7/20	
	試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/20	-	8/22	8/17
後期	⑧ 基本文型①	後1	1 3	2 4	10/8	-	10/10	10/5	
	⑨ 基本文型②	後2	1 3	2 4	10/22	-	10/24	10/19	
	⑩	この回は実施されません							
	⑪ 基本文型③	後3	1 3	2 4	11/19	-	11/21	11/16	
	⑫ 基本文型④	後4	1 3	2 4	12/3	-	12/5	11/30	
	⑬ 基本文型⑤	後5	1 3	2 4	12/17	-	12/19	12/14	
	⑭ 基本文型⑥	後6	1 3	2 4	1/7	-	1/9	1/4	
	試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	1/21	-	1/23	1/18

【先生からのメッセージ】

中国語入門では、中国語の学習を通して、中国に住む人びとの文化や習慣も理解していきます。中国語の読み方であるピンイン、声調から始め、挨拶や簡単な会話ができるように面接指導(授業)を進めていきます。漢字(簡体字)を使うので、日本人にとってはなじみの深い言語ですが、基本文型や発音は日本語と大きく異なります。積極的に声を出してよく読むことが上達のコツです。スクーリングに休まず出席できる人が受講してください。

教科・科目	外国語・中国語	単位数	4(前期2+後期2)		
		ライン	4	開講時期	前期と後期

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	中国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図る態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり、表現したり、伝え合ったりするなどのコミュニケーション能力を養う。
使用教科書・副教材等	中国語つぎへの一歩（白水社）

### 2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもって言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	観察 レポート	10%
b. 外国語表現の能力	中国語を話したり書いたりして、自分が伝えたいことを表現している。	発表 レポート 試験	30%
c. 外国語理解の能力	中国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手が伝えようとしていることを理解している。	観察 試験	30%
d. 言語や文化についての知識・理解	中国語やその運用についての知識を身に付けるとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	観察 レポート 試験	30%

### 3 学習計画

スクーリング回数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
			a	b	c	d
前期	① 第1課 助動詞 主述述語文	助動詞の「可、要」を用いて、許可や必要性を表わそうとする。	○			
	② 第2課 「原因・理由」の文	「因為～所以」を用いて原因と理由をより明確にすることができる。			○	
	③ 第3課 連動文 「是～的」の文	同一の主語に関する手段や目的などを表現することができる。		○		
	④ 第4課 「了」の三つの用法 副詞「就」	「完了、変化・到達、語気」の表現を理解することができる。				○
	⑤ 第5課 「可能性」の「会」	助動詞で変化を表わすことができる。			○	
	⑥ 第6課 結果補語(1) 副詞「有点儿」	動作の結果や到達状態について表現することができる。		○		
	⑦ 前期の復習	前期で学習したことを理解することができる。				○
後期	⑧ 第7課 存現文 「～了～了」の用法	場所から始まる文で存在を表わす。「了」を二つ用いて、現在進行を表現することができる。		○		
	⑨ 第8課 「状態の継続」を表わす 「着」	「～をしている」「～がしてある」「～をしながら～をする」の違いを理解することができる。				○
	⑩ 第9課 方向補語	主語の動作に関してより動線的に表現することができる。		○		
	⑪ 第10課 可能補語	助動詞を使わずに可能を表わすことができる。			○	
	⑫ 第11課 受け身の「被」	受け身の表現を明白にしようとする。	○			
	⑬ 第12課 「把」の構文	「把」の表現を用いて、目的語を強調することができる。			○	
	⑭ 後期の復習	後期で学習したことを理解することができる。				○

### 4 単位修得の条件(次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件のすべてを満たすことが必要。)

スクーリング	前期8回以上、後期8回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	各期2回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

○ 学習の記録		担当の先生	先生		登録				
スクーリング回数	学 習 内 容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格		日S	月S	火S	木S	
前期	① 第1課 助動詞 主述述語文	前1	1 3	2 4	4/23	-	4/25	4/27	
	② 第2課 「原因・理由」の文	前2	1 3	2 4	5/14	-	5/16	5/18	
	③ 第3課 連動文 「是～的」の文	前3	1 3	2 4	5/28	-	5/30	6/1	
	④ 第4課 「了」の三つの用法 副詞「就」	前4	1 3	2 4	6/11	-	6/13	6/15	
	⑤ 第5課 「可能性」の「会」	前5	1 3	2 4	6/25	-	6/27	6/29	
	⑥ 第6課 結果補語(1) 副詞「有点儿」	前6	1 3	2 4	7/9	-	7/11	7/13	
	⑦ 前期の復習				7/23	-	7/25	7/27	
	試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/27	-	8/29	8/24
後期	⑧ 第7課 存現文 「～了～了」の用法	後1	1 3	2 4	10/8	-	10/10	10/12	
	⑨ 第8課 「状態の継続」を表わす 「着」	後2	1 3	2 4	10/22	-	10/24	10/26	
	⑩ 第9課 方向補語	後3	1 3	2 4	11/5	-	11/7	11/2	
	⑪ 第10課 可能補語	後4	1 3	2 4	11/19	-	11/21	11/22	
	⑫ 第11課 受け身の「被」	後5	1 3	2 4	12/3	-	12/5	12/7	
	⑬ 第12課 「把」の構文	後6	1 3	2 4	12/17	-	12/19	12/21	
	⑭ 後期の復習				1/7	-	1/9	1/11	
	試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	1/28	-	1/30	1/25

【先生からのメッセージ】

中国語では、中国語の学習を通して、中国に住む人びとの文化や習慣も理解していきます。  
「中国語入門」での学習を発展させ、中国語の文法を押さえながら、中国語でスピーチを作って発表したり、コミュニケーションが取れるように面接指導(授業)を進めていきます。文法を踏まえた日常会話を、声を出すことで深めていくので、スクーリングに休まず出席できる人が受講してください。